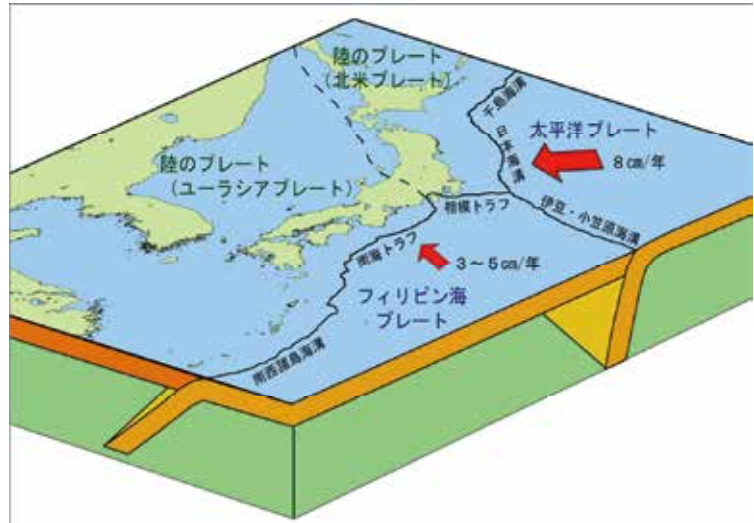


地震・津波に備える

◆地震とは

地球は、中心から、核（内核、外核）、マントル、プレート（地殻）という層構造になっています。地球の表面は十数枚のプレートに覆われています。プレートはごくわずかですが、少しずつ動いています。

そして、プレートどうしがぶつかったり、すれ違ったり、片方のプレートがもう一方のプレートの下に沈み込んだりしています。この、プレートどうしがぶつかっている付近では強い力が働きます。この力により地震が発生するので



◇海溝型地震の発生メカニズム

日本列島が乗っている大陸側のプレート（ユーラシアプレート）に、海側のプレート（フィリピン海プレート）が毎年数センチもぐり込んでいます。そのときに大陸側のプレートが引きずり込まれ、プレートどうしの境目にひずみ蓄積されます。そのひずみが限界に達したときに、元に戻ろうと急激に動き、地震が発生します。



◇活断層地震発生のメカニズム

日本列島が乗っている大陸側のプレートが、絶えず他のプレートによって押されているため、その圧力によってプレートが耐えられなくなり、蓄積されたひずみのエネルギーがプレートの内部で破壊を引き起こし、断層ができて地震が発生します。（上記 **A** 参照）

◇南海地震とは

南海地震は、フィリピン海プレートとユーラシアプレートとのプレート境界の沈み込み帯である南海トラフ沿いで発生する巨大地震のことです。

南海トラフを震源とする海溝型地震（最大クラス）は、30年以内に70%～80%程度の確率で発生するといわれています。次に発生する地震が必ずしも想定どおりになるとは限りませんが、被害を少なくするため、日常より防災対策をしておく必要があります。